

クローズアップ CLOSE UP



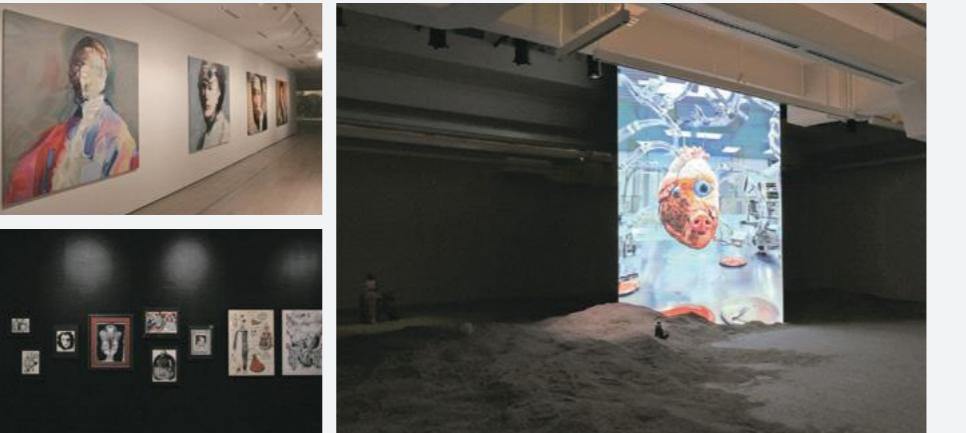
アートで輝く路線バス

10月28日、前橋特別支援学校で交流イベント「まえとくおたのしみ広場」を開催しました。永井運輸協力のもと、路線バスに絵を描くイベントを初めて実施。ローラーやペンキを塗った手形でカラフルに彩りました。バスは同校前を通る、石関町前橋大島駅線で運行されています。



見えないものの展覧会

12月21日(日)まで市立の美術館・アーツ前橋で企画展「ゴースト 見えないものが見えるとき」を開催しています。ゴーストというキーワードから広げた視点で制作された絵画や彫刻、写真、映像、インсталレーションなどの作品を展示。謎めいた魅力を表現した作品を鑑賞できます。



劇場をブルーに染めて

まえばしPR大使・飯塚花笑監督の最新映画「ブルーボーイ事件」が11月15日から前橋シネマハウスで公開されました。16日には、飯塚監督と俳優・真田怜臣さんによるトークショーを実施。その後、聖地巡礼マップを見ながら口ヶ島を巡り、まち歩きを楽しみました。



9月27日から10月2日にかけて、ニュージーランドで開催されたスノーボードの国際大会「カーデローナ・ニュージーランド・ナショナルズ」のハーフパイプ種目で優勝した杉田さんが、総合優勝を目指していたが、滞在中に左鎖骨を骨折するアクシデントに見舞われた。「日本に帰国する選択肢もありましたが、現地で治療しながら大会に出ることを決めました」肩を固定したまま挑んだ結果、ハーフパイプで優勝。総合成績でも準優勝になった。「ハーフパイプは自分が得意とする種目なので譲れませんでした。準備していた技は、肩を負傷していたため、ほとんど試せませんでした」と悔しがる。

スノーボード競技をしていた父の影響で2歳から始め、小5でプロ資格を取得。雪のない時期は、人工芝やエアマットがある埼玉県内の施設で練習し、シーズン中はハーフパイプの施設がある岐阜県に遠征する。今シーズンの目標は「ダブルコーケ1080」という高難度トリックを大会で成功させることがだとう。

「仲間と競い合い、たたえ合えることがスノーボードの楽しさです」将来の目標はオリンピックでの金メダル獲得とスノーボードやハーフパイプの魅力を広めるここと。世界を舞台に挑戦する12歳の視線は、すでに未来の雪上へと向けられている。

スノーボードの国際大会で優勝
杉田 壱路 さん・12歳
共愛学園中1年

いきいき
まえばし人



魅力!
発見!



Vol.13 スローなまちづくり全国推進委員会



スロー・シティは、地域の食や農作物、暮らし、歴史文化、自然環境など、多様性と個性を尊重したまちづくりを目指しています。スローなまちづくり全国推進委員会は、スロー・シティの理念を都市政策の重要な柱として捉え、普及啓発やスロー・シティ国際連盟への加盟支援、国際的な加盟自治体の連携促進に取り組んでいます。今回の視察も、その理念を共有し、全国でスロー・シティ運動の理念を広める取り組みを進めています。その一環として、8月28日、慶應義塾大の学生と、千葉県香取市の職員が本市赤城地域を訪問しました。

当日は、スロー・シティモニタメントの前で記念撮影をした後、赤城山頂エリアを視察。スローライフの取り組みについて説明を受けたほか、市長との意見交換も実施しました。



スロー・シティは、地域の食や農作物、暮らし、歴史文化、自然環境など、多様性と個性を尊重したまちづくりを目指しています。スローなまちづくり全国推進委員会は、スロー・シティの理念を都市政策の重要な柱として捉え、普及啓発やスロー・シティ国際連盟への加盟支援、国際的な加盟自治体の連携促進に取り組んでいます。今回の視察も、その理念を共有し、全国でスロー・シティ運動の理念を広める取り組みを広げる一步となりました。